

香川県立石田高等学校 農業科・家庭科〔全日制課程〕



1 学校基本情報

設置学科・コース	農業科：生産経済科（農業経営、流通経済） 園芸デザイン科（園芸科学、緑地環境） 農業土木科（土木工学、地域環境） 家庭科：生活デザイン科 （服飾、食物栄養、SLD）	全校生徒数	281 （農業科207 家庭科74）
住所／電話	〒769-2321 香川県さぬき市寒川町石田東甲 1065 番地（JR 高徳線神前駅から約 2 km） 電話：0879-43-2530		

○特徴的な授業や取組み

農業科、家庭科ともに2年次からコースに分かれ、専門の学習を深めます。教室で学んだ内容を実習・実践することにより、体験を通して身に付けていきます。社会人講師による授業も行い、農業科は農業や動物などのプロから、家庭科は食物、服飾、保育、介護などのプロから直接学ぶ機会が数多くあります。

○特色ある学校行事

石高祭での専門性を生かした展示や本校農産物の即売、真清水市場などの本校農産物販売、本校で収穫した農産物を食す収穫感謝祭など、季節感が感じられる数多くの取り組みを生徒主体で行っています。

○活躍が顕著な部活動

自転車競技部（令和4年度 全国高校選抜大会 ポイントレース 4位）
バレーボール部男子（令和4年度香川県高等学校県新人バレーボール大会 ベスト8）

○進路状況（令和5年3月卒業生の合格実績値〔過年度の卒業生を含まない〕）

大 学		専 門 学 校	就 職	
国公立	私 立		香川県内	香川県外
農業科 1	農業科 9（うち短大 0） 家庭科 6（うち短大 4）	農業科 37 家庭科 9	農業科 29 家庭科 12	農業科 7 家庭科 0

<進路の特徴>

農業科、家庭科ともに、県内で進学・就職する者が8割以上を占めています。
 農業科の進学は、農業系、土木系、動物系など入学時の専門性を生かした進路選択をしています。就職も、農業関連、土木関連など本校で身に付けた知識や技術を生かした職種に就く者が多くいます。
 家庭科の進学は、調理、保育、服飾、栄養など、入学時の専門性が生かされる分野を選択する者が多数です。就職も、食品製造、調理、福祉、縫製など本校で身に付けた知識や技術を生かした職種に就いています。

2 スクール・ミッション

全人教育を重視し、人格の向上を図る。

将来の郷土を担う人材を育成する。

3 スクール・ポリシー

○このような生徒を求めています。

農業科：部活動、ボランティア活動、農業に関する体験活動等において、熱心に取り組んだ事実があるとともに、農業に興味・関心があり、入学後も目的意識を持って学習や部活動等に積極的に取り組む意欲のある者。

家庭科：部活動、ボランティア活動、家庭に関する体験活動等において、熱心に取り組んだ事実があるとともに、家庭科の学習に興味・関心があり、入学後も目的意識を持って学習や部活動等に積極的に取り組む意欲のある者。

○このような学びを行います。

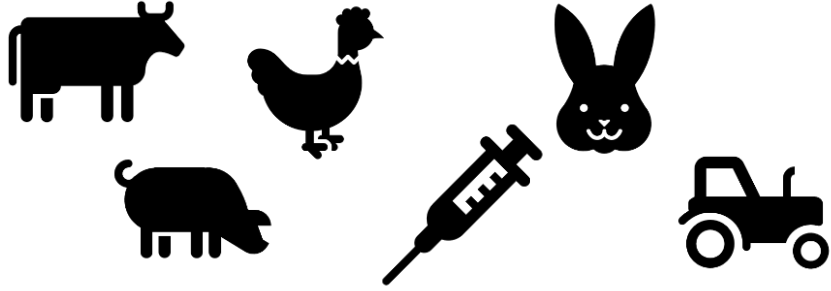
実習などの体験活動や地域交流を通して、自ら課題を発見し、主体的に解決策を考える能力や技術を養う学習を行います。漢字検定や英語検定等にも積極的にチャレンジするなど、普通教科の充実にも力を入れています。また、個別指導により個に応じた進路指導や検定指導を行っています。

○卒業までにこのような生徒を育てます。

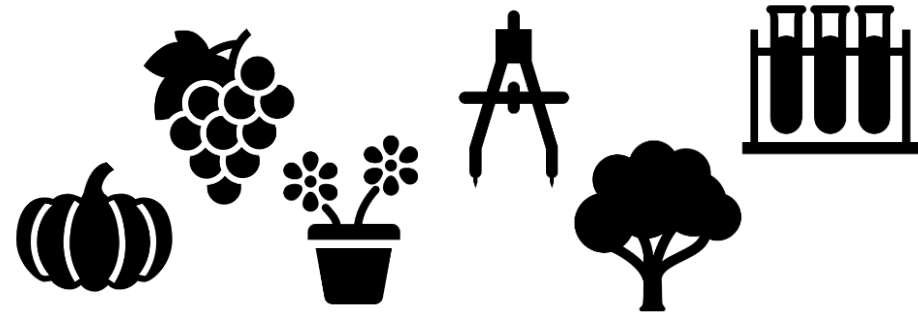
「誠実 明朗 英知」の校訓の下、全人教育（知識・技術に偏ることなく、人間性を全面的・調和的に発達させる教育）を重視し、人格の向上を図りながら、将来の郷土を担う人の育成を行います。

4 指導計画

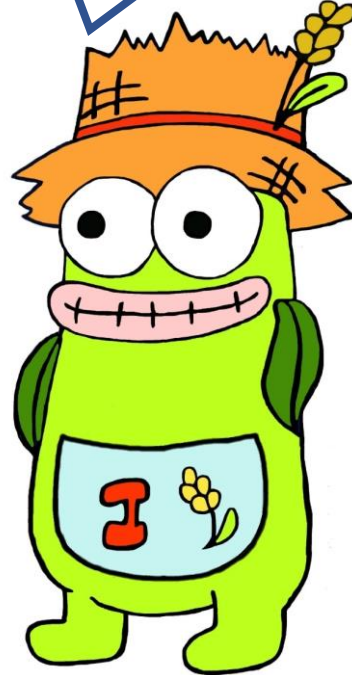
生産経済科 牛、豚、鶏やウサギなどの小動物の飼育
動物を病気から守るための、予防注射、採血
トラクター、コンバイン、田植え機、運搬車、動力噴霧機など農業機械の操作、整備
イネの栽培、精米、乾燥調整、販売、簿記



園芸デザイン科 夏野菜のトマトを冬に栽培
果樹の状態にあった剪定、摘花、摘粒、防除、ホルモン処理
カーネーション、ヒマワリ、シクラメンなど季節ごとの草花を栽培
生徒自ら、庭園を設計・施工、花壇用草花の栽培
ニンジンの肥大根の組織培養

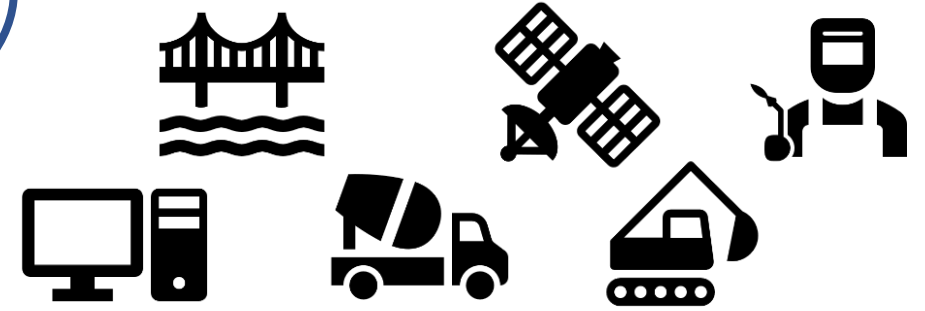


石田高校各科の
専門的な学習内容を
紹介するよ



石田高校生徒会イメージキャラクター 稲穂くん

農業土木科 建設機械や施工機械の操作実習
測量器械の操作実習、データの処理方法を学ぶ
鉄筋やコンクリートの性質や良し悪しを調べる



生活デザイン科 フランス料理等を作る
献立の栄養バランスを数値化
1枚の布地から浴衣やスーツを作る
こどもが喜ぶ布絵本を作り、保育所などで読み聞かせ



・全人教育を重視し、人格の向上を図る。 ・将来の郷土を担う人材を育成する。

1年

基本的な生活習慣と学習習慣を身に付け、専門の基礎を学ぶ

2年

専門の内容が高度化するとともに、共通教科のレベルもアップを目指す

3年

自ら学び続け、専門を生かし問題解決できる力を身に付ける

スペシャリスト